

平素から組合員・利用者の皆さまには格別のご愛顧を賜り心よりお礼申し上げます。

この度、2024年度の経営内容をご報告するにあたり、「ディスクロージャー誌」を制作いたしました。ぜひご一読いただきたくお願い申し上げます。

さて、2024年度のわが国経済は、輸出の緩やかな回復を背景に持ち直しが続いたものの、食料品を中心とした物価の高止まりが個人消費を停滞させたことで、回復感に欠ける状況でした。さらに、円安や天候不順、物流コストの増加などによる物価上昇圧力が続けば、消費支出が抑制される懸念があるほか、関税の引き上げや海外経済の減速、人手不足による供給制約といったマイナス材料が強まることで、景気の持ち直しの勢いが弱まってくる可能性もあり、先行きは不透明です。

農業を取り巻く環境では、ウクライナ情勢や急激な円安に端を発した生産資材価格の高騰・高止まりが依然続く中、猛暑や豪雨、暖冬や雨不足などの著しい気候変動はさまざまな農畜産物に影響を及ぼしており、生産農家にとって非常に厳しい1年となりました。また、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障の確保が法律の目的に加えられたほか、適正な価格形成の実現につながる記載や多様な農業者が位置付けられるなど、農業にとっては歴史的な転換点を迎えました。

こうした状況の中、JAはだのでは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく、「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画（2022年度～2024年度）最終年度の実践に取り組みました。

組織運営では、支所運営委員会を拠点とした組合員参加型の活動に取り組み組合員の結集力強化をはかるとともに、機関紙「JAはだの」やインスタグラムなどの媒体を通じ、農業や協同組合への理解促進と参加を促す広報活動につとめました。

営農指導事業では、販売TACによる訪問活動に加えシステムを活用した農家への生産支援・販売支援・経営支援に取り組むとともに、鳥獣被害対策や観光農業振興につとめたほか、秦野市と共同で台風10号で被災した農家へ支援を行い、地域における農業生産基盤の維持・継続をはかりました。販売事業では、「はだのじばさんず」を拠点とした新鮮な農産物や手作り加工品の供給につとめるとともに、「Sun's Gelato」では秦野産農畜産物を使用したオリジナルジェラートを提供するなど、季節感のある店舗運営につとめました。経済事業では、仕入れ強化による農薬・生産資材の価格低減につとめるとともに、経済事業収支改善の一環として、西給油所のセルフ化へ向けた準備をすすめました。さらに、金融共済事業では、「資産相談センター」を中心に多様化する相談への総合的な提案対応につとめるとともに、地域に根ざした金融機関として組合員・利用者の満足度を向上させる店舗づくりに取り組みました。

経営管理では、目的積立金を新設し自己資本の充実につとめるなど財務基盤の強化に取り組むとともに、コンプライアンス態勢の徹底と監査態勢の充実により、経営の健全性と信頼性の維持につとめました。

JAはだのでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、さらなる地域農業振興と豊かで暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでまいります。

皆さまの一層の参加、参画および利用結集をお願い申し上げます。

秦野市農業協同組合

代表理事組合長 宮永 均